

東京滝川会だより

第54号

TOKYO

TAKIKAWA

平成23年8月発行

<事務局>滝川市大町1丁目2番15号
滝川市経済部商工観光課

TEL 0125-28-8031 FAX 0125-23-5839

E-mail kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp>

このたびの統一地方選挙におきまして、東京滝川会をはじめ多くの方々の激励と市民の皆様への負託をいただき、52年ぶりとなる民間出身の滝川市長として市政の舵取りを担わせていただくことになりました。初当選の榮に浴し、その責任の重さを痛感しているところであります。

皆様方から寄せられた信頼と期待に応えるためにも、「民間企業感覚を取り入れた市役所改革」、「明日を担う子どもたちへの重点投資」、「お年寄りや体の不自由な方にはやさしさと住みやすさ」、「新たな滝川ブランドの創出・発信」の4つの目標の推進に強い決意と情熱をもって、職員と一丸となり全力を尽くしてまいります。

私は、生まれ育った滝川が大好きです。自然と都市が共生する滝川に誇りを持っています。このまちには、素晴らしい市民力と地域資源が数多くあると思っています。

東京滝川会の皆様はこのふるさとにどんな夢をお持ちでしょうか。私の夢は、心の豊かさをもう一度ふるさと滝川に取り戻し、市民の皆様と心をひとつにして「世界に誇れる田園都市」を築くこととあります。滝川には豊かな農畜産物、優れた農業技術、美しい農村環境、多くの農業に関する研究機関があります。日本一の菜の花畑、丸加高原から見る夕日の美しさ、そのすばらしさに誰もが感動するはずで、それらを活かし、さらに中心市街地の都市機能を融合することで、市民の皆様が住んで良かったと感じ、また多くの方々に来ていただける都市になると私は信じています。

将来にわたり地域が持続的に発展していくためには、地域の持ち味を生かしながら積極果敢に挑戦していくことが何よりも重要です。変化を恐れず、市民の皆様の声に常に耳を傾け、従来の仕組みや考えにとらわれない柔軟な発想でまちづくりを進めてまいります。

東京滝川会の皆様には、引き続き滝川の応援団として、ご支援とより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



滝川市長

前田康吉 滝川高校
S48年卒

「世界に誇れる田園都市」を
目指します

横綱白鵬関今年も滝川に

市観光大使を務める第六十九代横綱白鵬関が6月10日、家族とともに滝川を訪れ、地元の子どもたちやお年寄りと交流したほか、11日には田植えを行いました。



子どもたちとふれあう横綱白鵬関

来滝は今回で3回目。市に到着した横綱白鵬関はまず花月保育所と花月地区児童センターを訪問しました。最初に昨年観光大使就任を記念して市役所前庭に植樹された「翔の木」を、横綱白鵬関と園児の手形を葉っぱに見立てて大きな白布に再現。クイズ大会では見事入賞した子どもたちに、横綱白鵬

関から滝川にまつわる絵本「こひつじハイル」が贈られ、突然のプレゼントに子どもたちは「ありがとう」と喜びの笑顔を見せていました。



特製ケーキを横綱白鵬関にプレゼント

その後、洋菓子店花月堂松尾製菓と滝川高校の生徒から7連覇達成を記念した縦50センチ、横60センチの巨大ケーキが贈呈され、横綱白鵬関は子どもたちとケーキをほおぼり、会場全員で7連覇を祝いました。

翌11日には、JAたきかわの工藤正光組合長のほ場で縁起米ななつぼし「白鵬米」の田植えセレモニーに参加。滝川第一小学校5年生48人と田ん



初めて田植え体験をする横綱白鵬関

ぼに入り、自らの四股名が付いた米の苗を植えていきました。横綱白鵬関は「モンゴルでの米づくりという夢に向けて一歩前進。全国の皆さんに味わってもらいたい。去年食べた滝川のお米は最高だった」と話していました。



子どもたちの歓迎を受ける横綱白鵬関

続いて江部乙町の老人保健施設ナイスクエアすずかけを訪問。江部乙保育所

と一の坂保育所の子どもたちのお出迎えの後、入所者からも大きな拍手が贈られ暖かい歓迎を受けました。横綱白鵬関も積極的に握手を交わす場面が見られ、間近で見ると横綱に涙する入所者も。「がんばって」との声援も飛び交い、盛り上がりを見せました。



お年寄りと握手する横綱白鵬関

その後、札幌で絵本出版記念パーティーに出席。絵本には滝川市で元気に育っている横綱白鵬関の羊「ハイル」が描かれており、横綱白鵬関も「多くの人に読んでもらいたい」と呼びかけました。今回の来滝を振り返り、「滝川は第二のふるさと。1年ぶりの来滝で元気をもらった。また滝川に戻ってきた」と話していました。今回惜しくも8連覇は逃してしまいましたが、次の来滝時にはまた多くの笑顔を運んでくれることでしょう。

春の日映す幸せ色の丘

好評3万3000人来場

今年もまた滝川に、日本一の黄色いじゅうたんが咲き誇りました。「たきかわ菜の花まつり2011」は江部乙地区の3会場で、5月21日から6月5日までの16日間にわたるロングラン開催となり、入り込み客数約3万3千人の観光客を魅了。同まつりは昨年まで1日限りの開催でしたが、今年は市民中心の実行委員会が運営を行いました。



作付面積日本一（179ha）の菜の花畑

天候不良による開花の遅れで前半の入り込み客数は伸び悩みましたが、6月には誰もが驚くほどの一面の幸せ色に染まり、道内・道外から観光客がぞくぞくと滝川を訪れました。最終的な入り込み客数は昨年の見ごろの12日間の約2万5千人を大きく上回り、滝川市の魅力を道内外に発信することができました。

滝川の大きな魅力のひとつ「たきかわスカイパーク」では、また違った角度から菜の花を楽しむことができます。上空から眼下の黄色く染まった畑、青々とした森林、日光をキラキラと反射する水田、まだ雪が残る暑寒岳を全て楽しむことができるのは滝川市ならでは。鳥のように空を散歩しながら自然の美しさを堪能できる「菜の花フライト」は観光客にも大人気です。

「コウタローさん」 チャリティーライブ開催

東日本大震災復興支援

5月22日には「たきかわ菜の花まつり2011」を盛り上げるイベントのひとつ、「東日本大震災復興支援 山本コウタロー トーク&ライブ」が滝川



熱唱する山本コウタローさん

ふれ愛の里で開催されました。

前日まで雨が降り、ライブ当日も朝から曇り空でしたが、コウタローさんがステージに立つと、雲間から日が差し込み、眩しい青空が広がりました。

「僕は晴れ男なんです」とステージで語る山本コウタローさん。自作の滝川の歌をはじめ、往年のヒットソングを熱唱しました。軽快なトークに観客席からも賑やかな笑い声が広がり、会場全員で歌う場面も見られました。

会場では江部乙中学校生徒会の生徒たちが声をかけながら東日本大震災復興義援金を募り、山本コウタローさんに元気付けられた市民の善意がたくさん集まりました。

B・B登場 滝川をPR

6月5日、北海道日本ハムファイターズのマスケットキャラクターB・Bが青年体育センターでファンとの交流会に登場し、会場ではB・Bと握手や記念撮影を求める親子やファンで賑わいました。B・Bは日本ハムファイターズが取り組んでいる「212物語」の撮影で来滝。滝川スカイパークやチヨツちゃんアンティークコレクションなど様々な施設で撮影を行いました。

この日に撮影した映像は9月25日に札幌ドームのオリックス戦の試合前に放映される予定で、当日は滝川市の日本ハムファイターズ応援団も札幌ドームに応援にかけつける予定です。



グライダーの操縦席に乗り込むB・B

建設進むそらぶちキッズキャンプ

平成24年夏、正式オープン

アジア初の難病児のための医療ケア付き自然体験施設「そらぶちキッズキャンプ」がまもなく本格始動します。全国から寄せられた寄付で平成19年度から施設建設が進められ、すでに事務棟（森の案内所）と医療棟（そらぶち保健室）は完成し、企業や団体、ボランティアの協力による施設周辺の整備も進んでいます。現在は食堂、宿泊コテージ、浴場棟が建設されており、キャンプを支えるスタッフも全国から集まっています。



完成に向け建設が進むそらぶちキッズキャンプ

そらぶちキッズキャンプは、施設整備も運営も全て寄付でまかなわれており、本格開園の前に、持続的な支援が今後の重要な課題となっています。

今年2月に開催された東京マラソンでは、チャリティー事業の支援先の一つにそらぶちキッズキャンプが選ばれ、その活動が全国的な注目を集めました。「自然」「アクティビティ」「人」という、このまちにある「素材」が、子どもたちにたくさんの方の力を与える財産として多くの人々に評価されています。さまざまな支援と、多くの方々の願いが託され、風光明媚な丸加高原では、難病と闘う子どもたちが安心して笑顔になれる夢のキャンプが着々と形になってきています。

ヴァンテージグライダー

滝川の空を舞う

今年4月、社団法人滝川スカイスポーツ振興協会が正式に公益社団法人として認定されました。協会は公益認定で得られる税制面でのメリットを活かし、市と連携しながら観光部門のさらなる充実を目指しています。その一環として、スカイパークでは

現在、収集家から預かっている12機のヴァンテージグライダーを管理しており、その修復作業が進められています。



ヴァンテージグライダー「ミニモア」

1920年代頃に造られたというヴァンテージグライダーは、現代の航空力学に基づいたシンプルな機体とは異なり、木製で翼に布が使用され、鳥に似た姿をしています。写真のミニモアは世界でも現役で飛行している機体はわずか3機ほど。今後は実際に修復したヴァンテージグライダーで空を飛ぶ体験飛行やイベントでの展示を行います。滝川市ではグライダーの歴史と文化、空への夢を伝える新しい観光素材として、ヴァンテージグライダーの活

躍が期待されています。

中国人富裕層をターゲットとした

外国人観光客の誘致も

同協会では中国人富裕層を観光客として誘致するため、市と連携し9月には観光・旅行会社を対象としたエージェントツアーが行われます。東日本大震災の影響により、日本への外国人観光客誘致は大きな課題とされていますが、経済発展の著しい中国は新たな観光エリアの開拓を求めており、エージェントツアーは滝川市の魅力を海外へ発信する貴重な機会としてPRに努めます。

新規会員募集中

東京滝川会では新規会員を随時募集しています。

首都圏在住で滝川市に関わりのある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

【事務局】

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市経済部商工観光課

Tel : 0125-28-8031

Fax : 0125-23-5839

E-mail : kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL : http://www.city.takikawa.hokkaido.jp

